

6月月例「大岳山」山行報告

(L) 加田 (SL) 鈴木

(1) 山城 奥多摩山城 奥多摩三山 (大岳山、御前山1405m、三頭山1531m)

(2) 山行地 大岳山 (標高1,266.5m)

(3) 山行日 6月26日 (日)

(4) 集合場所&集合時間 JR新宿駅 **11番線ホーム**

(後ろ寄り6~1号車) **3号車 (南口改札エレベーター) 付近 6時25分** 集合

(5) 往路移動

JR新宿**6:46**発 (11番ホーム) = (ホリデー快速おくたま1号) = 御嶽8:02着

御嶽駅8:12 = (バス10分) = ケーブル下8:22 ⇒ 徒歩5分 ⇒ 8:28 瀧本駅8:30

= (ケーブルカー6分) = 御岳山駅8:37着

(コース&タイム) 正味歩行時間4時間25分 実働時間6時間32分

御岳山駅8:50発 ⇒ 9:13 御岳山 (929m) 9:20 ⇒ 9:29 天狗の腰掛杉 9:30 ⇒ 10:13

奥の院 (お社) 10:15 ⇒ 10:19 奥の院山頂 (甲籠山1077m) 10:22 ⇒ 10:46 鍋割山

(1084m) 10:55 ⇒ 11:08 鍋割山分岐 ⇒ 11:38 大岳山荘 11:50 ⇒ 12:08 大岳山 (昼

食) 12:50 ⇒ 13:08 大岳山荘 13:15 ⇒ 13:44 白倉バス停分岐 ⇒ 白倉バス停 15:22

着※

※ 白倉バス停で山行終了、解散式。立ち寄り湯は有志8名が参加。

(復路バス移動) 「瀨音の湯」に立ち寄り湯&懇親会を実施。

白倉バス停**15:42** = 十里木バス停 16:00着

(立ち寄り湯) 十里木バス停 16:00 ⇒ (徒歩10分) ⇒ 瀨音の湯 16:10

「秋川溪谷 瀨音の湯」(入浴料3時間 国保割引券利用700円) TEL042-595-2614

(入浴後 バス移動)

※1 「秋川溪谷瀨音の湯」の時刻表 休日 武蔵五日市行き

瀨音の湯**18:39** = 武蔵五日市 18:55着

(帰途電車) 武蔵五日市駅から五日市線の電車で帰途に就く。

(山行参加者) 加田 (L)、三浦、青柳、逸見、須永、鈴木 (SL) 夫妻、荻山、金子、山下、市川、体験山行 = 生田目・高橋 (敬称略 13名)

(山行報告) 体験山行を含め 13名が参加。御嶽駅 (現地) 集合の2名と合流し、バス&ケーブルカーと乗り継ぎ、山頂駅の御岳平でストレッチ体操をしてから 8時50分に山行開始。今年は熊出没が多く、御岳山周辺でも5月8日に目撃情報があり、熊除け鈴をつけた。梅雨の晴れ間に感謝しながら、御岳神社へ向かうが、勾配のある舗装路や階段がちょっときつい。23分で御岳神社 (御岳山) に到着。

ここで須永さんが体調不良となり、山行から離脱（その後スマホに SMS があり、御岳散策して帰宅。一安心）。標準タイム 20 分を 23 分で歩いたが、登山開始はもう少しゆっくり歩くべきだったかなと、反省。

神社は漆塗り替え修復工事中、大きな幕で被われていた。

天狗の腰掛杉からは鳥居をくぐっていよいよ本格的な尾根道となる。根っこの多い少し段差のある道を進むと赤いお社の下に出る。ここから社殿の左奥を通過して奥の院山頂（甲籠山 1077m）に到着。石の祠の後方奥に「大岳山」が観えた。一旦下って登り返し次のピークが鍋割山、と言っても鍋焼きうどんはありません。樹林帯で展望はなく、鍋割山分岐標識に下る。

さあここからが大岳山のメインルート。岩場や鎖場を通過してやっと山頂直下の「大岳山荘」に到着。休業中ということだが、ほぼ廃屋に近い状態。直ぐ上にある「大岳神社」の狛犬（可愛い狼です）をカメラに撮り、今日もとても段差の多い岩稜帯を 20 分登ると、大岳山に登頂（12:08）。

5 月 29 日に下見登山で来た時は大混雑だったが、今日の山頂はかなり空いていました。40 年以上前にロックガーデンや滝を楽しみ大岳山荘に泊まって、鋸尾根を奥多摩駅（当時は氷川駅）に下山して以来の大岳山。奥の院や鍋割山、まして白倉バス停下山は未知数。そこで今回のコースを下見しました。風の会ハイキング・クラブに 8 年前に入会してから、月例山行の単独下見は初経験でした。大岳山は首都圏の山（高尾山や生藤山の尾根等）から見える、その特異な山容が好きで、思い入れのある山です。

ちょっと本題から話がそれました。

昼食を楽しみ、南方面の展望は、右手前に御前山、その左奥に三頭山と奥多摩三山そろい踏み。左側の円錐形の山は丹沢の大山、その右に連なる丹沢山塊、御坂山塊、大菩薩の山々。梅雨の晴れ間とはいえかなり雲が多くもやっていて、富士山は雲の中。

大岳山荘への岩稜の下りは少し濡れてる場所もあり、慎重に下りる。

大岳山荘からは巻き道を馬頭刈山方面に歩き、白倉バス停の真新しい標識から九十九折りの長い下りをたっぷり 1 時間半歩き、舗装路に出て暫く歩くとバス停に着いた。

バスの時刻まで 20 分ほどあるので、バス停前の角屋商店で缶ビールを買いのどを潤す者複数あり。バス停前で、山行の解散式を行いました。

8 名が瀬音の湯に立ち寄り湯、4 名は直帰となりました。

今回の山行は、予め想定したコースタイムを目標に歩こうと先頭をリードしました。下見した結果、その想定実働時間は可能と判断して歩きました。

山行幹事にはそれぞれ特色（個性）があると思います。私の今回の先導の是非は分かりませんが、少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

（2016 年 6 月 29 日 文責：加田）